

第8回 北の文脈文学講座

新収蔵資料展

講師 櫛引 洋一（企画研究専門員）



中村雅之

中村雅之『坂本忠一の短歌とその時代』
（青森文芸出版 平成30年）より転載

中村雅之（本名・正行）は、昭和3年に津軽半島の寒村・車力村（現・つがる市）に生まれました。早くから農業に
いそしみ、土とともに暮らしてきた日々が歌の根底にあり
ます。昭和47年、江流馬三郎の筆名で発表した「縦走砂
丘」50首により、本県初の角川短歌賞を受賞。かけがえ
のない風土と人生を歌い続けた生涯でした。

本講座では、令和7年2月に他界した歌人・中村雅之旧
蔵の直筆資料を中心に紹介します。

日時 令和7年12月20日（土） 午後2時～3時

会場 弘前市立郷土文学館 2階ラウンジ

観覧料 一般100円、小・中学生50円

（市内の65歳以上、市内の小・中学生、市内の留学生、市内外の障がいのある方、
ひろさき多子家族応援パスポートをお持ちの方は無料です。）

* 先着25名の事前申込制になります。申込みはお電話か文学館窓口まで。

* 申込受付は11月20日（木）より開始。（開館時間：午前9時～午後5時）

弘前市立郷土文学館 ☎ 0172-37-5505